

■第12回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
<p>1</p> <p>もりわき えつこ 森脇 恵津子</p>	<p>出雲市 西平田町</p>	<p>○退職後、更生保護女性会員をやりながら地域の高齢者の生き甲斐作りにコミセン等と連携し尽力してきた。 《更正保護女性会とは》 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体</p> <p>○毎月主宰する歌のサークル「みんなで歌えば」は現在100人の参加者がいて8年も続いている。社会福祉協議会が主催する地域のサロン事業にも積極的に参加。回数は、年間50回を超え、毎回出席者の好評を博している。 《サロン事業とは》 高齢者等が身近な場所で気軽に仲間づくりや生き甲斐づくりを行い、地域でいつまでも生き生きと暮らせることを目指す交流事業</p> <p>○出雲市から委嘱され、この春開校した「出雲市立さくら小学校」の校歌を作詞・作曲。</p>	<p>○長年の教員経験を生かし、夫婦それぞれが得意分野を生かしながら強い使命感を持ち積極的に地域貢献している。</p> <p>○二人の活動のモットーは「青少年に自信と感動を」「お年寄りに元気を」で幅広く地域になくてはならない存在であり、明るく温かい人柄で周囲の人たちからも慕われている。</p> <p>○多忙の中、家事を分担するなどして、二人協力しながら思いやり助け合って成果を上げておられる姿は良きナイスパートナーである。</p>	<p>平田地区厚生 保護女性会会長</p>
<p>2</p> <p>なかの きめろ 中野 絹枝</p>	<p>出雲市 小山町</p>	<p>○古代出雲歴史博物館開館当初からガイドボランティアとして活躍中。</p> <p>○出雲市民病院においてボランティアとして外来者に奉仕活動している。</p> <p>○食育ボランティアも実践中。 《食育ボランティアとは》 地域の食文化や農産物、自然などに触れ合う機会や学習の場の提供、心身の健康を増進するための食生活や食品の安全性についての情報提供などのボランティア活動を行う人です。</p> <p>○1915世帯の小山自治協会長として地域自治活動に貢献。</p> <p>○出雲ドームで開催する四絡地域全体の祭り『よつがね夏祭り』実行委員長として多年にわたり地域まちづくり活動に貢献。</p> <p>○ニュースポーツ組織の代表やNPO出雲スポーツ振興21の役員として住民の健康増進活動に貢献。</p> <p>○四絡地区青色防犯パトロール隊員、出雲市子ども・若者支援センター少年委員等子ども見守り活動に積極的意欲的に社会貢献。</p> <p>○市民グループ「みつわ会」会長 月1回健康増進、病氣予防のため60～70代の41人の親睦を深め代表として活躍。</p>	<p>○四絡地区、その中でも特に小山町は、集合住宅世帯が多いため、無緑化しつつある中で共助、互助の小山づくりをめざし、ニュースポーツ大会を企画して「地域の絆」を深める活動を実施している。</p> <p>○健康づくり推進員として出雲市保健師等とタイアップして地域住民に禁煙の啓発、健康体操、健康相談をコミセン会場に企画実践している。</p>	<p>出雲市四絡コミュ ニティセンター長</p>

■第12回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
3	のじま ようこ 野島 要子	安来市 大塚町	<ul style="list-style-type: none"> ○定年退職後、農業に携わりながら趣味(緑側茶、セラバンド)を活かし、地域の文化活動に積極的に参加。 《セラバンドとは》 医療機関のリハビリ用として活用されていた、天然ゴム製のバンド。リハビリや筋トレに使用するもの。 ○自治会のミニサロン、地域交流センターの諸行事、寿会等に夫婦揃って参加。 ○平成25年頃から、地域寿会役員として積極的に参加し活動の中心的な立場として活躍。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭に在っては終始一貫相和し仲良く厨房等も活用。 ○二人揃って旅行に行き、見聞を広められることが仲間作りへの原動力になっている。 	安来市大塚交流センター館長 安来市大塚寿会会長
	のじま しろう 野島 志郎		<ul style="list-style-type: none"> ○定年退職後、農業に携わりながら趣味(詩吟)を活かし、地域の文化活動に積極的に参加。 ○自治会のミニサロン、地域交流センターの諸行事、寿会等に夫婦揃って参加。 ○平成20年頃から地域の活動家としてお互いの立場を理解しながら積極的に参加。とりわけ若い活動世代の少ない寿会に於いて貴重な存在。 		
4	おおもり ゆきこ 大森 由紀子	安来市 大塚町	<ul style="list-style-type: none"> ○多年に亘り、保健師としての経験を生かし、地域の健康づくり(介護)に力を入られている。 ○大正琴教室(全国大会に数回参加)、セラバンド教室などの取組みを行い、イベントや文化活動に積極的に参加。 ○大塚交流センターの教室生の中心的存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多年に亘り、地域の諸行事、イベント、文化活動に夫婦で参加。地域のまとめ役として活躍、地域の後輩の育成に尽力。 ○家庭に在っては終始一貫相和している。 ○二人揃って海外旅行に行かれ、見聞を広められそれが仲間作りへの原動力になっている。 	安来市大塚交流センター館長 安来市大塚寿会会長
	おおもり かぶ 大森 岳		<ul style="list-style-type: none"> ○平成18年より、大塚交流センターの運営協議会会長 大塚地区の敬老会に尽力されている。 ○平成18年より、大塚社会福祉協議会会長 諸行事、地域のイベント、文化活動に参加。 		
5	つげ えつこ 柘植 悦子	出雲市 神西沖町	<ul style="list-style-type: none"> ○平成7年～19年 民生・児童委員として13年の長きにわたり地域の相談役として活躍。 ○厚生保護女性会(平成26年まで) 事務局や神西支部長を務め青少年の健全育成に尽力。 ○現在は、神西地区社会福祉協議会の主催するふれあいサロン活動のスタッフとして高齢者福祉に携わる。また、神西コミュニティセンター運営副委員長や男女共同参画部部長として意欲的に地域コミュニティに参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いに地域活動にリーダー的立場で積極的に参画し、子育て事業から、地区老人会まで幅広い年代の事業に参加。 ○夫婦とも世代間交流に積極的に風揚げの準備から指導、紙芝居の読み聞かせ、調理ボランティアとして活躍。 	神西コミュニティセンター長
	つげ のぼる 柘植 昇		<ul style="list-style-type: none"> ○平成19年～平成22年度 神西自治協会副会長として総合文化祭の企画・運営に積極的に携わる。 ○平成18年度～25年度(7年間)神西コミュニティセンターまちづくり部の専門部員 花づくりの活動に自主的に参加し花いっぱいのもちづくりに貢献した。 ○現在は、神西幸楽会副会長として、しめ縄づくりの後継者育成に携わる。 		